

日本骨髄バンクの現状（平成 26 年 10 月末現在）

	9 月	10 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,178	2,809	448,415	624,074
患者登録者数	276	271	2,820	43,288
移植例数	97	115	—	17,524

■10 月年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,725 人
20 代	71,395 人
30 代	147,428 人
40 代	179,651 人
50 代	47,216 人

■10 月の 20 歳未満の登録者 238 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■10 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／611 人、献血併行型集団登録会／1,977 人、集団登録会／166 人、その他／55 人

■10 月末までの末梢血幹細胞移植（PBSC T）累計数：76 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 臍帯血移植に関する国際協力について

「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」（以下「法律」）の施行に伴い、臍帯血移植に関する国際協力について、日本骨髄バンクの国際委員会で審議することになりました。本年 4 月、当法人は新たに国際委員会を立ち上げ、これまで 2 回委員会を開催し、以下について決定しました。

○臍帯血移植に関する国際協力についての基本的な考え方

○当法人と各臍帯血バンクの役割分担

○臍帯血提供に関する国際料金の設定

当法人から第 2 回臍帯血供給事業者連絡会議（9 月 30 日 日本赤十字社主催）に上記を報告し、各臍帯血バンク事業者と基本的な合意を確認いたしました。今後、詳細について関係機関と詰めていきます。

2 骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業者連絡会議の開催について

「法律」施行後、第 1 回の「骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業者連絡会議」が 10 月 23 日に日本赤十字社（以下、支援機関）において開催されました。

「今後の骨髄バンクドナー登録推進について」を主要な議題として、当法人から支援機関へのドナー登録推進に関する依頼事項、および支援機関からの報告事項を中心に話し合いが行われました。

来年度以降の新規ドナー登録数の目標設定に関する協議のほか、当法人からは献血ルームや献血バスにおける支援機関の対応、当法人のポスターに献血ルーム等でドナー登録ができることを掲載すること、骨髄バンク登録者を識別するための献血カードの表示等々、要望事項を重ねて依頼し、支援機関からは「法律」施行後の現状報告と当法人からの依頼事項に対する回答がありました。

3 非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科の認定について

下記の施設が新たに非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は 180 施設です（10 月末現在）。

◆非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科

・採取施設

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター

・移植診療科

同左 血液内科・輸血科

新規認定施設については、当法人ホームページの患者さんへ＞移植認定病院、およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

4 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は、10月末現在で84施設です。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

・採取施設

兵庫県立がんセンター

・移植診療科

同左 血液内科

新規認定施設については、当法人ホームページの患者さんへ>移植認定病院、およびドナー登録されている方へ>面談施設一覧でもご覧いただけます。

5 「TEAM ダイジナトコロ」メイキング映像と「命のリレーの物語～骨髄移植がつないだバトン～」映像を公開(予定)

「一人でも多くの人に骨髄バンクを認知してもらい、ドナー登録に協力していただくことで多くの患者さんを助けたい」。そんな思いに賛同して立ち上がった『TEAMダイジナトコロ』。人気アイドルグループ4組（ベイビーレイズ、LinQ、Negicco、バニラビーンズ）が共演し、骨髄バンク応援ユニットを結成しました。骨髄バンクオリジナルソング「ダイジナトコロ」のスペシャルムービーやメイキング映像を加えた各グループ単独バージョンを公開する予定です。

また、10月にBS日テレで放送された骨髄バンクの広報番組『命のリレーの物語～骨髄移植がつないだバトン～』も公開しています。骨髄移植後に2人のご子息に恵まれた南出弦さんと提供経験のあるドナーの黄木奈々絵さんが登場し、移植や提供した当時の様子や現在の心境等を語っていただいています。

映像はYouTube骨髄バンク公式チャンネルで公開（予定）しており、当法人ホームページからご覧になれます。

6 10月の骨髄バンク推進月間について(第3弾)。日本各地の祭りでドナー登録会開催

10月の骨髄バンク推進月間の期間中、日本各地で開催された市民祭、農業祭、産業祭、学園祭、企業祭等、全国49か所の秋祭りでドナー登録会が開催されました。

若い方々やファミリーを中心に幅広い層の来場者があり、場所によっては数十万人が来場する祭りの場は、ドナー登録はもちろん、より多くの方に骨髄バンクを知っていただく格好のPRの場となりました。11月も日本各地のお祭り会場でドナー登録会を開催する予定です。

7 埼玉県内の8自治体がドナー助成制度を導入

埼玉県内の8自治体で、骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度がスタートしました。これで制度導入は全国で88自治体になります。今後も、ドナー登録の推進やドナーが提供しやすい環境整備となる同制度がさらに拡大されることを期待します。

加わった8自治体は下記のとおりです。助成内容は各自治体によって異なりますので、直接お問い合わせください。当法人ホームページにお問い合わせ一覧を掲載しています。

【新たにドナー助成制度を導入した自治体】

○伊奈町 ○川口市 ○北本市 ○狭山市 ○草加市 ○長瀬町 ○三郷市 ○宮代町



8 「2014 LIVE FOR LIFE 音楽彩～本田美奈子. メモリアル～」開催

急性骨髄性白血病により38歳で亡くなった歌手、本田美奈子. さんを追悼するコンサート「2014 LIVE FOR LIFE 音楽彩 ～本田美奈子. メモリアル～」が11月3日に開催されました。同コンサートは本田さんが他界した2005年の翌年から開かれ、今年で9回目となります。本田さんと縁のある坂本冬美さん、松本伊代さん、早見優さんらの多彩なアーティスト14組19人が出演しました。ロビーに骨髄バンクのPRブースが設置され、コンサート冒頭では服部克久さんがドナー登録を呼びかけました。

9 バレーボールの「2014／2015Vリーグ」開幕

今年もバレーボールの「2014／2015Vリーグ」が11月8日に開幕しました。来年4月4日、5日の男女プレミアムリーグ決勝が開催される東京体育館まで、全国の試合会場でVリーグ特製シールと骨髄バンクリーフレットを配布します。

10 骨髄ドナー手術給付金申請の専用証明書について(メットライフ生命)

17社の生命保険・損害保険各社、共済互助会が、ドナーが提供のために入院した際に給付金を支払う個人保険を販売しています。このたび、メットライフ生命保険株式会社の商品においても、当法人発行の証明書で申請手続きが可能となりました。プルデンシャル生命保険株式会社、日本生命相互会社、損保ジャパンD I Y生命保険株式会社、ソニー生命保険株式会社に続いて5社目となります。

ドナー手術給付金を受けるため、当法人発行の証明書をドナーご本人が希望される場合は、コーディネーターから地区事務局経由でドナーコーディネート部にご連絡ください。

11 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	11月21日(金) 17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	12月19日(金) 17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

12 フォローアップ関連帳票の変更について(通知)＜採取医師の方へ＞

来年から実施される当法人コーディネート支援システムと TRUMP データの連携に伴い、採取有核細胞数の桁数表示に差異が発生することが判明したため、フォローアップ関連帳票について桁数表示を12月1日(月)の発送分から変更します。別紙新旧対照表をご参照ください。すでに発送されている帳票の差し替えは不要です。



13 「造血幹細胞の凍結事例報告について〈コーディネーター・医師の方へ〉

これまで、16 例の造血幹細胞の凍結申請に関して報告しましたが、本年 4 月 1 日から 9 月 30 日までの間に、1 例の凍結申請がありました。いずれも採取日程の再調整が不可能だったことが前提です。

詳細については、別紙「造血幹細胞の凍結申請事例報告」をご参照ください。なお、平成 25 年 10 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の期間中、申請はありませんでした。

14 「造血幹細胞移植推進事業フォーラム」開催のご案内

「法律」の施行に伴い、非血縁者間造血幹細胞移植を推進するインフラが整備されたことを受け、日本造血細胞移植学会(JSHCT)の年次学術集会中にこれまで開催されてきた「骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会」に代わり、新たに「造血幹細胞移植推進事業フォーラム」が常設されることとなりました。

当フォーラムはJSHCT年次学術集会のプログラムの1つとして、移植に関わる様々な関連機関と非血縁者間造血幹細胞提供に関連する最新かつ重要な情報を共有するオープンなセッションです。

〈開催概要〉

日時：平成27年3月7日（土）7：20～8：50

会場：神戸国際会議場 第3会場

〈医師の方へ〉

今回よりJSHCT主催となるため、当法人からの事前の出欠確認は行いませんが、できる限りご参加くださいますようお願い申し上げます。JSHCT発行「JSHCT Letter No. 56」を合わせてご覧ください。

〈コーディネーターの方へ〉

本フォーラムは「コーディネーターブラッシュアップ研修会」の内容のひとつに位置付けられていますので、必ずご出席くださいますようお願いいたします。

15 コーディネート業務における個人情報の取り扱いについて（注意喚起）〈コーディネーターの方へ〉

個人情報の取り扱いについては、日頃より十分ご注意いただいておりますが、メール・FAX でのドナー氏名の伏字使用、送受信確認の徹底、書類の送付方法、自宅・外出先での管理について、再度ご確認をお願いします。

また、家電量販店に使用済み FAX インクリボンの廃棄を依頼した場合、一般の産業廃棄物として処理されることにより個人情報が漏洩する恐れがあるため、コーディネーター各自が、必ず自宅で裁断して廃棄処分してください。万が一、書類や携帯電話紛失など情報漏洩の可能性が発生した場合は、速やかに地区事務局に連絡するようお願いいたします。

**16 連絡事項**

◆末梢血幹細胞提供実施状況報告について<コーディネーター・医師の方へ>

日本骨髄バンクを介した末梢血幹細胞採取術が本年6月末に50例に達しました。50例時点での実施状況を集計しましたので別紙ご参照ください。コーディネーター・医師の方へお送りします。

◆年末年始の検体保存事業の受付について<移植施設・採取施設の医師の方へ>

年末・・12月19日(金)までに東海大必着

※北海道・九州地区は12月17日(水)までに、それ以外の地区は12月18日(木)までに発送をお願いします。

年始・・1月5日(月)採血・発送分から受付可能

◆年末年始の確認検査・再検査実施とSRL予約について<コーディネーターの方へ>

ドナーがすでにHLA(DNA)の情報を持っているか否かにより、対応が異なります。どちらに該当するかは地区事務局から申し送りをしますので、それに従って日程調整をお願いします。

<年末> ①確認検査(検査項目：一般血液検査とHLAビーズ法)⇒12月24日(水)採血分まで

②確認検査(検査項目：一般血液検査のみ)・再検査 ⇒12月26日(金)採血分まで

<年始> ①確認検査、再検査 ⇒1月6日(火)採血分から

<SRLの予約>

1月6日～8日採血希望の場合は、12月25日(木)14:00まで

◆「確認検査行程期間短縮に向けたワーキンググループ」答申書に関するパブリックコメントの御礼

日本骨髄バンクでは、平成26年10月15日(水)～11月14日(金)まで「確認検査行程期間短縮に向けたワーキンググループ」答申書に関するパブリックコメントを募集し、6名の方からご意見が寄せられました。これらのご意見につきましては今後、運用方法策定の際の参考にさせていただきます。

皆様方のご協力に深く御礼申し上げますとともに、今後とも骨髄バンク事業の推進にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。